

◆ 人形劇 葛尾大尽物語



葛尾村の歴史を残したい…

元気な

かつらお
プロジェクト

葛尾村は、阿武隈山系に属し福島県双葉郡の北部に位置する村です。

「葛尾大尽物語」は、地元に残る江戸時代の豪商のエピソードを基に葛尾村の有志が創作した人形劇です。過疎化が進む葛尾村に元気を「元気なかつらおプロジェクト」として地元産品を各地で紹介する際にこの人形劇を上演していました。しかし、東京電力福島第一原発事故で葛尾村に全村避難指示が出ます。メンバーも各地に避難しましたが、三春町を練習の拠点にしてその活動を続けてきました。2015年11月には葛尾村とゆかりのある長野県の坂城町(さかきまち)で上演。2016年10月には震災以来6年ぶりに葛尾村で上演することができました。原発事故、全村避難という未曾有の事態を経験した葛尾村のみなさん。この人形劇を通して、みなさんの故郷への熱い想いが伝わることでしょ。プロジェクトの代表、篠木兵(しのき いさむ)さんは地元紙でこう発言しています。「葛尾村の歴史を残したい。今後は子どもたちに引き継いでいきたい」

(「福島民友」2017/5/9より)

人形劇「葛尾大尽物語」は仙台では初上演となります。

*【大尽(だいじん)】財産を多く持っている者。金持ち。富豪。資産家。素封家。



■ 上演：「元気なかつらおプロジェクト」のみなさん

■ 日時：**2017年11月11日** (土)

■ 開場：13:30 ■ 開演：14:00

■ 会場：日本基督教団東北教区センター「エマオ」3Fホール
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6

■ 主催・問合せ：日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ
電話番号022-796-5272 (平日午前9時～午後5時)

入場無料



◆ 人形劇 葛尾大尽物語